

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 7 月 25 日(2024.7.25)

【公開番号】特開 2023-159801(P2023-159801A)  
【公開日】令和 5 年 11 月 1 日(2023.11.1)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-206  
【出願番号】特願 2022-69737(P2022-69737)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 7 月 17 日(2024.7.17)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判  
定する判定手段と、

遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、  
を備え、

前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能  
状態に制御可能であり、

30

前記差分が前記特定値に達する前に所定の異常を伴う特定状態になった場合には、所定  
の表示手段で特定エラー表示を行い、所定の音出力部で特定エラー音を出力することが可  
能とされる一方で、

前記差分が前記特定値に達して前記遊技不能状態に制御された後に前記特定状態になっ  
た場合には、前記表示手段で前記特定エラー表示を行うが、前記音出力部では前記特定エ  
ラー音でなく前記遊技不能状態に対応する遊技不能音を出力することが可能とされるもの  
であって、

さらに、前記遊技不能状態では、遊技の進行に用いられる特定操作部への操作に関する  
処理が不能とされる

40

ことを特徴する遊技機。

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 7  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 0 7】

上記した目的を達成するために、請求項 1 に係る発明においては、  
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
遊技に用いられた遊技価値と付与された遊技価値との差分が特定値に達したか否かを判

50

定する判定手段と、

遊技機の状態を制御する遊技制御手段と、

を備え、

前記差分が前記特定値に達したと判定された場合に、遊技の進行を不能にする遊技不能状態に制御可能であり、

前記差分が前記特定値に達する前に所定の異常を伴う特定状態になった場合には、所定の表示手段で特定エラー表示を行い、所定の音出力部で特定エラー音を出力することが可能とされる一方で、

前記差分が前記特定値に達して前記遊技不能状態に制御された後に前記特定状態になった場合には、前記表示手段で前記特定エラー表示を行うが、前記音出力部では前記特定エラー音でなく前記遊技不能状態に対応する遊技不能音を出力することが可能とされるものであって、

10

さらに、前記遊技不能状態では、遊技の進行に用いられる特定操作部への操作に関する処理が不能とされる

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このように、本発明によれば、遊技機の管理の適正化を図ることができる。

30

40

50